

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

地域文化の読み取り方

Deep playとしての闘牛

新潟県小千谷市では、角突き(闘牛)が継承されている。それは国指定の重要無形民俗文化財に指定されており、文化財的価値が認識されているが、それは従前の文化の「財」制度的の枠組みを越えた多岐にわたる価値を育む、あるいは創出する文化である。

闘牛というと、動物を利用し勝ち負けをつけ、人間がそれを楽しむという一面的な局面だけがことさら注目されるが、その文化は単なる手慰み、娯楽ではなく、地域(の人びと)のアイデンティティと深く結びつき、社会的、精神的な価値を生み出す源泉となっている。

そのような価値は、小千谷の角突きのみならず、各地の地域文化のなかに共通して見られる価値であり、文化研究において、この側面にこそ注目すべきである。本発表では、牛が闘うという局面を見ただけではわからない、人間の生活世界と結びついた地域文化の奥深さを提示する。



◆日 時: 2014年5月29日(木) 17:00-18:00

◆報告者 菅 豊 氏 (東洋文化研究所 教授)

◆会 場: 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

◆参加費: 無料(申し込みは不要です)

東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは毎週木曜日の夕方にセミナーを開催しています。どなたでもご参加頂けます。皆様のお越しをお待ちしております。詳しくはこちら: <http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET

検索



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

